

## 通常総会議事報告

社団法人 溶接学会第71回通常総会野城時を下記のとおり報告いたします。

日時 平成15年4月24日(木) 09:30 ~ 11:00

場所 三省堂文化会館8F大研修室 東京都新宿区西新宿4-15-13

平成14年度事業報告及び会務報告  
(平成14年3月1日 至平成15年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成14年度において本会は次の事業を行った。

### 事業報告

#### 1. 全国大会

##### 1.1 春季全国大会

平成14年4月24日~26日 日本教育会館(東京)

研究発表講演 140件、特別講演1件、シンポジウム(講演6件)、フォーラム(講演10件)、若手会員のためのフォーラム(講演2件)

参加者 延約 1,000名

##### 1.2 秋季全国大会

平成14年10月3日~5日 高山市民文化会館(岐阜高山)

研究発表講演 219件、特別講演1件、論文賞受賞講演2件、フォーラム(講演8件)、技術セッション(講演8件)、ワークショップ(講演5件)、若手会員のためのイブニングフォーラム(2件)、カタログ展示・ビデオコーナー(カタログ出展10社、ビデオ1社)

参加者 延約 1,500名

#### 2. 講習会

##### 2.1 平成14年度溶接工学夏季大学(第51回)「溶接・接合プロセスの予測技術とITの応用」

会期 平成14年7月15~17日

会場 大阪科学技術センター(大阪)

受講者 46名

##### 2.2 平成14年度溶接技術基礎講座(第30回)

会期 平成14年6月13日、14日

会場 溶接学会会議室(東京)

受講者 29名

#### 3. 刊行

##### 3.1 溶接学会誌71巻2号~72巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇、データシート7件、展望1篇

##### 3.2 溶接学会論文集20巻2号~21巻1号(4冊)

主な内容 研究論文59篇

##### 3.3 全国大会講演概要集 第70集および第71集(2冊)

##### 3.4 平成14年度溶接工学夏季大学教材「溶接・接合プロセスの予測技術とITの応用」

##### 3.5 Mate 2003 9th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" (マイクロ接合研究委員会)

##### 3.6 ダメージメカニクスと遷移温度領域での破壊評価への応用(アドホック研究会「ダメージメカニクスによる溶接継手の破壊解析」)

##### 3.7 シンポジウム「21世紀の自動車における接合技術」(JAAA2002)(軽構造接合加工研究委員会)

##### 3.8 講演論文集 溶接構造シンポジウム2002-「環境とものづく」りのための技術革新(溶接構造研究委員会)

##### 3.9 建築鉄骨における実用的な入熱・パス間温度の管理手法(建築鉄骨溶接特別研究会)

##### 3.10 人工物の寿命と再生-構造・機器のリニューアルに果たす溶接・接合技術-(日本学术会议接合工学専門委員会平成14年度シンポジウム)(本会:世話学会)

##### 3.11 第2版溶接・接合便覧

#### 4. 研究活動

##### 4.1 研究推進部会(小林紘二郎部会長)

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに研究委員会の活性化

- を図るとともに、アドホック研究会が1件成果報告、1件継続、3件発足、特別研究会1件が活動し、特別研究会1件の次年度発足を決めた。
- (1) 平成14年春季及び秋季大会のフォーラムを開催した。  
 春季全国大会「アーク溶接の高能率化、高能率化はどこまで進むか」(溶接法研究委会)  
 秋季全国大会「新溶接・接合プロセスにおける溶接・接合現象の材料科学的アプローチ」  
 (溶接冶金研究委員会)
- (2) 建築鉄骨溶接特別研究委員会(中込忠男主査)  
 建築鉄骨の溶接施工時の入熱とパス間温度の管理について、溶接接合部の力学的性能との関係を明らかにした上、要求性能にあった、簡便的な手法を確立できないかを検討した。  
 平成14年11月に「建築鉄骨における実用的な入熱・パス間温度の管理手法」として、研究成果を報告書として刊行した。  
 「入熱・パス間温度の低コストな管理手法」として、平成14年12月19日に東京の建築会館で、12月20日に大阪トヨタビルで受講者を募ってシンポジウムを開催した。
- (3) 高張力鋼を実際の構造物へ適用していく場合、溶接した際に熱影響部に生じる軟化が継手性能に影響を及ぼすことはよく知られた事実であり、現在、物質・材料研究機構で研究開発中の超鉄鋼材料などについても同様の現象が発生することが予想される。  
 そこで本研究会では、鉄鋼材料のさらなる適用性拡大を目指し、高張力鋼のHAZ軟化とその強度特性に関する従来知見の整理と超細粒高張力鋼のHAZ軟化評価のための基本課題の抽出、ならびに強度的不均質を持つ溶接継手の破壊靱性評価の従来知見の整理とHAZ軟化継手の破壊性能評価のための基本課題の抽出に関する研究調査を、以下のよう項目について行っていく。  
 「HAZ軟化をもつ溶接継手の引張強度特性評価」アドホック研究会(望月正人主査)  
 ・高張力鋼のHAZ軟化とその強度特性に関する従来知見のまとめ(Reviewと課題)  
 ・80キロ級超微細高張力鋼のHAZ軟化特性の把握と引張強度特性から見た軟化限界評価  
 ・HAZ軟化部を持つ引張強度評価式の提案  
 ・HAZ軟化を考えた溶接金属強度マッチングのあり方とその評価手法の提案  
 ・HAZ特性と溶接熱サイクルの関係の解析的検討  
 「HAZ軟化をもつ溶接継手の破壊性能評価」アドホック研究会(南二三吉主査)  
 ・強度的不均質を持つ溶接継手の破壊靱性評価の従来知見のReviewと課題抽出  
 ・HAZ軟化がもたらす破壊性能上の課題  
 ・HAZ軟化を持つ継手の脆性破壊性能評価手法とHAZ軟化の影響  
 ・HAZ軟化を持つ継手の破壊性能評価及び靱性試験法のあり方の検討
- (4) アドホック研究会「プラズマを用いる熱加工プロセスの現象とそのモデル化」(田中学主査)が発足した。  
 本研究会では、溶接、溶射、溶融、CVD、廃棄物処理など多岐にわたる「プラズマを用いる熱加工プロセス」において生じる様々な現象を整理し、それぞれのプロセスをモデル化するためには、それらの現象をどこまで理解し、どのように取り扱えばよいのか、という点の情報交換を行うとともに、プラズマから材料にわたるプロセスの統一モデル化の可能性を探ることを目的に研究活動を行った。特に、本会溶接アーク物理研究委員会ならびに(社)日本鉄鋼協会プラズマの化学的应用研究グループと共同して、中部電力(株)エネルギー応用研究所にて合同研究会を開催し、「プラズマを用いる熱加工プロセス」の益々の発展と新しい展開を目指して、活発なディスカッションが行われた。また、合同研究会では研究会資料冊子を作成した。
- (5) アドホック研究会「極超短パルスレーザプロセッシング」(塚本雅裕主査)が継続して活動した。  
 ・福井大学を訪問し、光ビームによる機能性材料加工創成技術開発及びフェムト秒パルスYb:YAGレーザの開発に関する研究会を行った。  
 ・宮崎大学を訪問し、フェムト秒パルスレーザによるシリコン基板加工研究に関する研究会を行った。  
 ・調査を行った会議等  
 1) LAMP(レーザ先端材料加工国際会議)2002  
 2) 静岡県地域結集型共同研究事業「超高密度フォトン産業基盤技術開発」  
 平成14年度事業発表会-光技術による産業開発-  
 本研究会の最終月である6月に「極超短パルスレーザプロセッシング」に関する調査活動のまとめとして、大阪大学にて研究会を開催する予定である。

#### 4.2 溶接構造研究委員会(南二三吉委員長)

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
-------	-------	-----	------	-----

第 153回	14. 3. 19	大 阪	33	研究報告 4 件
第 154回	14. 6. 3	福 岡	32	研究報告 5 件
第 155回	14. 9. 3	東 京	26	研究報告 4 件
第 156回	14.11. 5	大 阪	55	研究報告 5 件
第 157回	14.11.19-20	大 阪	183	溶接構造シンポジウム2002

#### 4.3 溶接法研究委員会（大嶋健司委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 178回	14. 5. 7	東 京	45	研究報告 6 件
第 179回	14. 8. 6- 7	大 阪	66, 52	研究報告 14件
第 180回	14.11.26-27	横 浜	34, 49	研究報告 9 件，見学会
第 181回	15. 2. 5- 6	東 京	42, 42	研究報告 14件

#### 4.4 溶接冶金研究委員会（西本和俊委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 168回	14. 5.15	東 京	28	研究報告 5 件
第 169回	14. 8.21	大 阪	27	研究報告 6 件
第 170回	14.11.14-15	兵 庫	26, 21	研究報告 7 件，見学会
第 171回	15. 2. 4- 5	東 京	29, 42	研究報告 14件

#### 4.5 溶接疲労強度研究委員会（三木千壽委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 193回	14. 4.23	東 京	31	研究報告 5 件
第 194回	14. 7. 4	東 京	33	研究報告 5 件
第 195回	14.11.15	愛 知	29	研究報告 2 件，見学会
第 196回	15. 2. 4	東 京	31	研究報告 5 件

#### 4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（阿部信行委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 40 回	14. 5.14	東 京	25	研究報告 5 件
第 41 回	14.11.29	東 京	26	研究報告 6 件
第 42 回	15. 2.21	東 京	24	研究報告 6 件

#### 4.7 軽構造接合加工研究委員会（前川仁委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 57 回	14. 6. 6	東 京	56	研究報告 6 件
シンポジウム	14. 7.25	東 京	110	JAAA2002シンポジウム
第 58 回	14. 9.12	大 阪	32	研究報告 6 件
第 59 回	14.11.14	つくば	35	研究報告 3 件，見学会
第 60 回	15. 1.23	東 京	44	研究報告 8 件

#### 4.8 溶接アーク物理研究委員会（平岡和雄委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 146回	14. 5.29	東 京	29	研究報告 4 件，勉強会 1 件
第 147回	14. 8. 6- 7	大 阪	66, 52	研究報告 14件
第 148回	14.11.21-22	名古屋	34, 29	研究報告 10件，特別講演 1 件，

第 149回	15. 1.29	東 京	27	見学会 研究報告 4 件，勉強会 1 件
--------	----------	-----	----	-------------------------

#### 4.9 マイクロ接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 67 回	14. 4.26	東 京		研究報告 5 件
第 68 回	14. 5.23	東 京	89	研究報告 7 件
第 69 回	14. 9.13	東 京	64	研究報告 7 件
第 70 回	14.12. 7	東 京	77	研究報告 7 件
シンポジウム	15. 2. 6- 7	横 浜	646	Mate 2003シンポジウム
第 33 回 分科会	14. 7. 4	東 京	74	研究報告 8 件
第 34 回 分科会	14.10.25	東 京	83	研究報告 7 件
シンポジウム	15. 2. 6- 7	横 浜	646	Mate 2003シンポジウム

#### 4.10 界面接合研究委員会（池内建二委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 60 回	14. 5.17	東 京	21	研究報告 5 件
第 61 回	14. 9.20	東 京	30	研究報告 6 件，特別講演 1 件
第 62 回	15. 1.17	東 京	27	研究報告 6 件

### 5 . 国内活動

5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議接合工学専門委員会、金属工学研究連絡委員会、材料研究連絡委員会、造船研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、日本工学会、電子技術情報産業協会、日本技術者教育認定機構等の活動に協力した。

他の団体からの協賛等依頼（承認順）

- （ 1 ） 協賛：日本材料学会「第 2 5 回材料講習会」（14.03.08）
- （ 2 ） 協賛：日本被破壊検査協会「第 16 回国際アコースティックシンポジウム」（11.12-14）
- （ 3 ） 協賛：日本高圧力技術協会「第 1 2 回圧力設備材料、設計、施工、維持管理」（6.12-14）
- （ 4 ） 協賛：強化プラスチック協会「47th FRP Con-Ex 2 0 0 2」（09.12-13）
- （ 5 ） 協賛：画像センシング技術研究会「第 8 回画像センシングシンポジウム」07.17-19）
- （ 6 ） 協賛：腐食防食協会「第 2 9 回セミナー、防食を理解するための電気化学入門」（07.03）
- （ 6 ） 協賛：日本塑性加工学会「第 5 3 回塑性加工連合会」（11.22-23）
- （ 7 ） 協賛：日本材料学会「第 3 8 回 X 線材料強度に関するシンポジウム」（09.05-06）
- （ 8 ） 協賛：日本材料学会「第 2 6 回疲労シンポジウム」（11.28-29）
- （ 9 ） 委員推薦：日本工学会平成 1 4 年度評議員の推薦：菅泰雄（慶大）教授
- （ 10 ） 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー：圧力聞き及び配管におけるガスケットフランジ締結体のシーリングテクノロジー」（09.05-06）
- （ 11 ） 協賛：傾斜機能材料国内シンポジウム実行委員会「第 1 4 回傾斜機能材料国内シンポジウム」（11.19-20）
- （ 12 ） 協賛：腐食防食協会「第 4 9 回材料と環境討論会」（09.05-07）
- （ 13 ） 協賛：腐食防食協会「腐食データの極値解析法講習会」（08.27）
- （ 14 ） 協賛：腐食防食協会「第 3 0 回技術セミナー」（09.20）
- （ 15 ） 共催：日本金属学会：革新的材料機能具現化プロとタイピング共同研究会 会費平成 14 年度50,000円
- （ 16 ） 協賛：日本材料学会「第 2 2 回 疲労講座 - 疲労の基礎と設計 -」（10.24）
- （ 17 ） 協賛：日本高圧力技術協会「H P I 技術セミナー：リスク評価による圧力機器の保全」（10.11）
- （ 18 ） 協賛：日本鉄鋼協会「西山記念技術講座：結晶粒超微細化技術の進歩」（10.18・25）
- （ 19 ） 協賛：日本金属学会「金属学会セミナー：循環型社会における環境・リサイクル技術」（12.02）
- （ 20 ） 協賛：自動車技術会「シンポジウム：技能のデジタル化と次世代マニュファクチャリング」（9.13）
- （ 21 ） 協賛：日本金属学会「金属学会セミナー：凝固および結晶成長 - 理論・シミュレーション」（11.21-22）

- (22) 協賛：日本時計学会：2002年秋季マイクロメカトロニクス学術講演会(09.27)
- (23) 協賛：日本溶接協会：「レーザシンポジウム：中厚板構造体へのレーザ技術の適用」(08.22-23)
- (24) 協賛：文科省科研費「高性能マグネシウムの新展開」「International Conference on Platform Science & Technology for Advanced Magnesium Alloys 2003(略称PSTAM2003、先端マグネシウム合金の科学技術プラットフォームに関する国際会議)」(2003.01.26-30)
- (25) 協賛：日本金属学会：「金属学会文科会シンポジウム：構造物における腐食寿命の予測と設計及び腐食技術への展開」(09.05)
- (26) 協賛：日本鉄鋼協会：「異業種交流セミナー：材料と設計シリーズ：構造物の余寿命評価 - 主として腐食疲労の劣化予測の観点から - 」(10.07)
- (27) 協賛：日本高圧力技術協会「HPI技術セミナー：第12回 圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(大阪開催)(11.28-29)
- (28) 協賛：日本材料学会「第7回 材料の衝撃問題シンポジウム」(12.05)
- (29) 協賛：高温学会「第11回 溶射総合討論会」(11.28-29)
- (30) 協賛：日本材料学会「第19回 材料・構造信頼性シンポジウム」(11.18-19)
- (31) 協賛：エレクトロニクス実装学会「第12回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2002)」(10.8-9)
- (32) 協賛：日本溶接協会「第30回 原子力国内シンポジウム：米国原子力発電所稼働率の背景とこれを支えるリスク評価技術の現状」(09.19)
- (33) 協賛：日本材料学会「第40回 高温強度シンポジウム」(12.12-13)
- (34) 協賛：日本溶接協会「講習会：ステンレス鋼の溶接施工技術の実際とその応用」(09.12)
- (35) 協賛：村上記念会「第23回(平成14年度)村上記念賞受賞候補者推薦」(2003.05)
- (36) 組織委員の推薦：EcoDesign2003 竹本正理事
- (37) 共催：日本金属学会、溶接学会：日本金属学会分科会シンポジウム「溶接・接合最前線」(12.10)
- (38) 協賛：日本ガスタービン学会「第31回セミナー、ガスタービンの最新技術と分散電源への展開」(1.16~17)
- (39) 協賛：日本材料学会「第39回X線材料強度に関する討論会」(12.06)
- (40) 協賛：腐食防食協会「第28回腐食防食入門講習会」(11.18~19)
- (41) 共催：生産学術連合会議「第6回シンポジウム、元気な会社にはワケがある、勝ち抜くための経営戦略」(12.13) 共催金20,000円 実行委員推薦：座古勝
- (42) 協賛：日本非破壊検査協会「第34回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H15.01.21)
- (43) 協賛：日本非破壊検査協会「保守検査における表面探傷と定量的評価技術シンポジウム」(15.01.16)
- (44) 協賛：レーザ加工研究会「第56回レーザ加工学会」(09.13)
- (45) 協賛：レーザ協会「第26回セミナー、レーザ加工2002、明日のレーザプロセス技術」(11.8)
- (46) 後援：溶接接合工学振興会「第13回セミナー、溶接品質と構造成能、溶接の不具合と構造の機能」(10.22)
- (47) 後援：溶接接合工学振興会「特別講演会、最近の科学技術の動向について&国立大学を取り巻く状況」(11.28)
- (48) 後援：軽金属溶接構造協会「シンポジウム、最近の建築・土木(橋梁)におけるアルミ構造と接合」(02.4)
- (49) 協賛：日本学術会議「第5回構造物の安全性および信頼性に関するシンポジウム」
- (50) 協賛：日本鉄鋼協会「セミナー、技術者のための鉄鋼材料入門」(10月8日東京、12月12日大阪)
- (51) 協賛：腐食防食協会「第137回シンポジウム、超臨界水利用の開発と装置材料の腐食防食の現状」(10.4)
- (52) 協賛：腐食防食協会「第138回シンポジウム、材料の生体内劣化と人体への影響」(11.18)
- (53) 協賛：腐食防食協会「第31回セミナー、高温腐食解析の基礎と実際」(12.09)
- (54) 後援：日本建築学会「講習会、鋼管トラスト構造設計施工指針」()
- (55) 候補者推薦：(財)村上記念会：第23回(平成14年度)村上記念賞候補者推薦のお願い
- (56) 共催：日本学術会議シンポジウム「人工物の寿命と再生、構造・機器のリニューアルに果たす溶接・接合技術」(15.01.27)
- (57) 協賛：日本高圧力技術協会「第3回セミナー、エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(15.02.6~7)
- (58) 協賛：レーザ加工学会「レーザ精密微細加工国際シンポジウム(LPM2003)」(15.06.21~24)
- (59) 協賛：日本造船学会「第17回海洋工学シンポジウム」(15.07.17~18)
- (60) 協賛：レーザ加工学会「第57回レーザ加工学会・理研シンポジウム」(12.04)
- (61) 協賛：自動車技術会「International Body Engineering Conference 2003(IBRC2003)」(15.10.27~29)
- (62) 後援：日本溶接協会「講習会、原子力構造機器の材料、設計、施工、検査に関する講習会」(11.19~29)
- (63) 後援：日本溶接協会「鋼材と鋼構造物の被破壊性能セミナー」(15.03.10)
- (64) 協賛：腐食防食協会「第13回アジア太平洋防食会議」(15.11.16~21)
- (65) 共同主催：日本原子力学会「第41回原子力総合シンポジウム」(15.05.20~21) 2口10,000円  
運営委員：西本学術理事
- (66) 共催：日本アイソトープ協会「第40回理工学における同位元素・放射線研究発表会」(15.07)
- (67) 協賛：日本材料学会「分子動力学冬季講座」(12.8~20)
- (68) 協賛：電子情報技術協議会「JISSO/PROTECフォーラム2002」
- (69) 協賛：日本塑性加工学会「第34回春季講演会」
- (70) 協賛：日本非破壊検査協会「第10回超音波による非破壊評価シンポジウム」(15.01.30~31)

- (71) 共催：日本学術会議（材料、金属、物質創製）「第47回材料研究連合講演会」1口¥10,000  
運営委員推薦：西本学術理事
- (72) 協賛：日本非破壊検査協会「第2回保守検査シンポジウム」(15.02.6~7)
- (73) 協賛：腐食防食協会「第139回腐食防食シンポジウム」(15.01.21~22)
- (74) 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー第5回压力容器関連規格の国内外動向」(15.04.10-11)
- (75) 協賛：日本検査機器工業会「総合検査機器展(JIMA2003)」(15.04.9-11)
- (76) 共催・協賛：日本接着協会「2003年度第41回日本接着学会年次大会」(15.6.26-27)
- (77) アンケート協力依頼：(財)金属系材料研究開発センター(JRCM)「材料・塑性加工関係の大学等教官データ改訂」会長名の添え状
- (78) 後援：日本溶接協会「特別講習会、物づくりを支える溶接技術の進歩、欠陥を出さない溶接のかんどころ」(15.02.24)
- (79) 共催：日本学術会議「第33回安全工学シンポジウム」(15.07.10-11)1口20,000円  
実行委員推薦：西本学術理事
- (80) 共催：高温学会「エレクトロニクス生産分野における微細加工・接合シンポジウム」(14.112.10)
- (81) 協賛：配管技術研究会「平成14年度第2回講習会初級&再入門講座、配管<製品・材料の実務知識>」(15.03.6)
- (82) 協賛：日本材料学会「第32回FRPシンポジウム」(15.03.18-20)
- (83) 協賛：日本金属学会「金属学会分科会シンポジウム、フリクションゼロ・エミッションフリーを目指した革新技术」(15.01.20)
- (84) 協賛：画像センシング技術研究会「第9回画像センシングシンポジウム」(15.06.11-13)
- (85) 協賛：日本鉄鋼協会「異業種交流セミナー、材料と機能シリーズ」(15.01.24)
- (86) 協賛：日本計算工学会「第8回講演会」(15.05.19-21)
- (87) 授賞候補者推薦：(財)溶接接合工学振興会「木原奨励賞」
- (88) 協賛：日本材料学会「第8回分子動力学シンポジウム」(15.05.16)
- (89) 協賛：日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会「第16回プラズマ材料科学シンポジウム」(15.06.04-05)
- (90) 協賛：日本時計学会「マイクロメカトロニクス学術講演会」(15.03.11)
- (91) 協賛：JCOSAR2003「第5回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム」
- (92) 協賛：日本鋼構造協会「第11回鋼構造シンポジウム」(11.27-28)

### 5.3 金属関係学協会連絡委員会に参加して各種連絡を行った。

### 5.4 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接構造協会	軽金属溶接	"	Journal of Asian Architecture and Building Engineering
高温学会	高温学会誌	日本高圧力技術協会	圧力技術
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本鋼構造協会	JSSC
電気学会	電気学会誌	日本接着学会	日本接着学会誌
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本造船学会	TECHNO MARINE
土木学会	土木学会誌	"	造船学会論文集
"	土木学会論文集	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
日本海事協会	日本海事協会誌	"	ふえらむ
日本機械学会	日本機械学会誌	"	ISIJ International
日本橋梁建設協会	虹橋	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本金属学会	まてりあ	日本溶接協会	溶接技術
日本溶射協会	溶射		

## 6. 国際活動

### 6.1 国際溶接学会(IIW)関連

IIWの活動を支援して年間を通じIIWの日常活動及び年次大会(第56回)(デンマーク国コペンハーゲン)に参加した。参加者は32カ国527名、日本からは86名(含同伴者)。

IIW地域(アジア・太平洋)会議(シンガポール)に参加した。参加者は16か国150名、日本からは24名(含同伴者)。

### 6.2 ヴェトナム溶接学会(VWS)と学術交流協定を締結した。

### 6.3 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア

2	Revista Soldadura	アルゼンチン
3	Schweiss- & Prufung Technik	オーストリア
4	Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5	Leurotest Technical Bulletin	"
6	Metalurgia	ブラジル
7	Associacao Brasileira de Soldagem	"
8	Soldagem & Inspeccao	"
9	Canadian Welder & Fabricater	カナダ
10	Zvaranie	チェコ
11	Welding News	"
12	Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13	Soudage et Techniques Connexes	フランス
14	Bulletin Singanaletique	"
15	Sciaky	"
16	Schweissen und Schneiden	ドイツ
17	Schweisstechnik	"
18	Wissenschaftliche Zeitschrift	"
19	Indian Welding Journal	インド
20	Journal of the Association of Engineers	"
21	Rivista Italiana della aldatura	イタリア
22	Korean Scientific Abstracts	韓国
23	大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	"
24	大韓熔接学会誌	"
25	Metals and Materials	"
26	Korean Welding Society	
27	Lastechniek	オランダ
28	Przeglad Spawalnictwa	ポーランド
29	Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	"
30	Polish Engineering	"
31	Technologia Qualidade	ポルトガル
32	Buletin IPI	ルーマニア
33	Serie de Metalugia	"
34	Sudura	"
35	Revista de Metallugia	スペイン
36	Revista de Soldadura	"
37	Soldadura y Tecnologias de Union	"
38	Svetsaren	スウェーデン
39	Schweisstechnik Soudure	スイス
40	Welding & Metal Fabrication	英国
41	Welding Review	"
42	Metals Technology	"
43	Welding International	"
44	Welding Journal	アメリカ
45	Welding Research Abroad	"
46	WRC Bulletin	"
47	CA Selects(Ceramic Materials)	"
48	Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
49	Strength of materials	"
50	All - Union Monthly of Engineering Physics	"
51	Zavarivac	スロベニア
52	Varilna Tehnika	"
53	Science in China	中国
54	地質学報	"
55	金属学報	"
56	鋼 鉄	"
57	Transactions of the China Welding Institution	"
58	冶金分析	"
59	材料科学	"
60	China Welding	"

## 会務報告

### 1. 第70回通常総会

日 時 平成14年4月25日(木) 09時30分開会 11時00分閉会

場 所 日本教育会館第2会議室

出席者 25名 委任状81名 合計106名(総数154名)

#### 議 事

平成13年度事業及び会務報告の件 承認

平成13年度収支決算報告の件 "

監査報告 "

平成14・15年度理事及び監事選任の件 "

平成14年度事業計画の件 可決

平成14年度収支予算の件 "

特別員推薦 "

山口裕君、冨浦梓君、松井繁朋君、田中甚吉君

表彰

#### イ. 溶接学会貢献賞(3件)

松縄朗君、堀川浩甫君、入江宏定君

#### ロ. 溶接学会業績賞(3件)

荒木孝雄君、座古勝君、三木千壽君

#### ハ. 佐々木賞(1件)

山本英幸君

#### ニ. 田中亀久人賞

黒川剛志君、輿石房樹君、清水弘之君、伊藤崇明君、横田泰之君

#### ホ. 溶接学会論文賞(2件)

近藤勝義君、木村淳君、渡辺龍三君

柴原正和君、芹澤久君、村川英一君

#### ヘ. 溶接学会論文奨励賞(3件)

望月正人君、佐藤裕君、平田弘征君

#### ト. 溶接学術振興賞(2件)

鶴岡隆好君(北海道支部)、恩澤忠男君(東部支部)、才川至孝君(関西支部)

#### チ. 妹島賞

野村博一君、杉谷祐司君、勘定義弘君、村山雅智君

#### リ. 溶接学会研究発表賞(10名)

春季全国大会(4件)

佐久間正剛君、金子裕良君、高木周作君、都築亮一君

秋季全国大会(6名)

木村真晃君、百川裕希君、坪井竜介君、石川信行君、西川聡君、谷和彦君

#### ヌ. 溶接学会シンポジウム賞

Mate2002優秀論文賞(1件)

南匡晃君、清野紳弥君、森本亮一君、弘田実保君

Mate2002研究奨励賞(2件)

百川裕希君、永田孝弘君

#### ル. 溶接学会奨学賞(15件)

北海道支部: 小林大樹君

東北支部: 浦田光徳君

東部支部: 古賀毅君、本間信吾君、本郷美杉君

東海支部: 菰田頼忠君、鄭 教君

関西支部: 国政武史君、森田暁君、栗山文彰君、竹内康智君、小原泰浩君、

藤井真君

四国支部: 三棟郁亜君

中国支部: 辺田拓君

九州支部: 東田玉史君、森岡友洋君

#### ロ. 溶接学会国際協力賞(64件)

松縄朗君、野村博一君、竹本正君、牛尾誠夫君、宮田隆司君、中西英介君、磯谷寿甫君、黄地尚義君、大石橋宏次君、大橋修君、小原昌弘君、片岡義弘君、柏谷英夫君、木村衛君、沓名宗春君、小溝裕一君、香山晃君、近藤正恒君、志賀千晃君、篠



田剛君、杉田雄二君、杉谷祐司君、竹中修君、玉置維昭君、豊田政男君、堤紳介君、中込忠男君、西田順紀君、西本和俊君、福本昌宏君、舟本孝雄君、別所清君、堀川浩甫君、町田一道君、松井繁朋君、松田福久君、武藤睦治君、村川英一君、山本英幸君、和田宏一君、田川哲哉君、藍田勲君、池内建二君、池本喜和君、印南哲君、上山智之君、黄地尚義君、大貫仁君、大森明君、才田一幸君、菅泰雄君、曾根祥光君、高野元太君、田中学君、豊原力君、中田一博君、西川清吾君、平田好則君、廣瀬明夫君、藤井英俊君、松井仁志君、松村裕之君、南二三吉君、山田猛君

## 溶接学会記念基金その他の寄付の受け入れ状況及び活用状況の報告

### 2. 評議員会

日 時 平成 14 年 4 月 24 日 (水) 17:00 開会 18:00 開会  
場 所 日本教育会館 703 会議室  
出席者 4 名、 委任状 101 名、 合計 105 名 (総員 147 名)  
議 事 平成 13 年度事業及び会務報告の件 承認  
平成 13 年度収支決算報告の件 "  
監査報告 "  
平成 14・15 年度理事及び監事指名の件 "  
平成 14 年度事業計画の件 "  
平成 14 年度収支予算の件 "

### 3. 理事会 (定例 7 回)

本年度の主な議題・決議事項

#### (1) 溶接学会活性化について

学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21 ビジョン：21 世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン」を作成すべく、会勢増強、学会構成員の評価向上、活動資金獲得、溶接 (高度) 技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などに重点を絞った検討を進め、逐次実行に移した。

#### (2) 財政改善について

逼迫した財政状態改善のために、人件費、事務費の節減、会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに、講習会、広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

#### (3) 会勢の拡張について

正員の増強、学生に対する啓発及びサービス活動の強化、そして財源の安定化と学会活動の浸透を図った。

#### (4) 特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて、特別研究会の設置及び活動の推進について審議し、特別研究会「建築鉄骨溶接」が活動し、また、「摩擦撹拌接合の高度化」の来年度発足を理事会に提案、アドホック特別研究会を 1 件を継続及び 3 件を新たに発足した。(前掲)

### 4. 業務委員会活動

#### 4.1 企画委員会 (宮田隆司委員長)

学会の活性化に向けて、将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21 ビジョン：21 世紀における溶接研究・技術野天帽と溶接学会ビジョン」を作成すべく、会勢増強、学会構成員の評価向上、活動資金獲得、溶接 (高度) 技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などに重点を絞った検討を進め、逐次実行に移した。

#### 4.2 論文査読・審査委員会 (西本和俊委員長)

年度内 6 回の定例委員会を開催し、投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施した。インターネット利用による、論文査読・審査システムを理事会に提案した。

#### 4.3 全国大会運営委員会 (粉川博之委員長)

- (1) 年度内 4 回の委員会を開催し、平成 14 年度春季・秋季全国大会および平成 15 年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第 70 集および第 71 集を編集発行した。
- (3) 平成 14 年度秋季および平成 15 年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の表彰制度「溶接学会研究発表賞」を平成 14 年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (5) 春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。
- (6) 国立情報学研究所 (NII) の電子図書館サービス (NACSIS-ELS) に全国大会講演概要集の創刊号から、参加することを理事会に提案した。
- (7) 科学技術情報発信・総合流通システム (J-Stage) を利用した、インターネットによ

る全国大会研究発表・原稿提出・J-Stageにて公開、に参加することを理事会に提案した。

4.4 編集委員会（南二三吉委員長）

年度内6回の委員会及び分野別担当者会議を、また、電子化及び共同編集英文誌に伴う諸規定を検討するため2回のWGを、それぞれ開催し、溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集並びにそれぞれの刊行に関する業務を実行した。科学技術情報発信・流通総合システムへの溶接学会論文集の参加、及び国立情報学研究所の電子図書館サービへの溶接学会誌及び溶接学会論文集の創刊号から参加することを、理事会に提案した。

4.5 国際交流委員会（野村博一委員長）

- (1) ヴェトナム溶接学会（VWS）と学術国際協定を締結した。
- (2) 国際交流の在り方、国際戦略について検討した。
- (3) 海外名誉員、推薦会員（Guest Member）について検討した。
- (4) 日米及び日韓学術交流協定に基づいた協力事項を検討した。
- (5) 各国からの依頼事項、照会事項を処理した。

4.6 科学研究費委員会（豊田政男委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。

4.7 溶接用語委員会（松縄朗委員長）

- (1) IIW 第6委員会と合同で1回の委員会を開催し、IIW第VI委員会の活動を支援した。
- (2) 溶接用語集（和英対訳）の刊行を目的として、IIW 溶接用語、JIS 溶接用語など内外溶接用語の集録、検討を行った。
- (3) 日本溶接協会規格委員会、JIS 溶接用語改訂準備委員会の活動に協力した。

4.8 文献資料委員会

- (1) IIW における溶接関係文献アブストラクト交換業務が停止されており、本会における同アブストラクトの作成及びIIW 各International Documentation Centers への送付を引き続き停止した。なお、IIWにおいては、本委員会関連事項は第 委員会（用語）で検討されることになった。シソーラスの改訂も同VI委員会で検討される。

4.9 溶接教育委員会（沓名宗春委員長）

- (1) 年度内1回の委員会を開催し、学会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 視聴覚教材の製作について検討した。
- (3) 平成14年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）
- (4) 平成14年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (5) 第40回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を検討した。（前掲）
- (6) IIW 第XIV等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (7) 連続講座（基礎分野）及び溶接・接合セミナー（トピックステキなもの）について企画を検討した。
- (8) IIWスキーム対応教師用教材（OHP等）の利用について検討した。
- (9) 日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に協力した。
- (10) 日本工学会のPDE協議会（「社会人の専門職業能力開発・維持調査研究委員会」）及びCPD委員会（「技術者生涯教育システム調査委員会」）の活動に協力した。

5. 若手会員の会（森裕章委員長）

5.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学会振興会）

(1) 春季全国大会フォーラム，懇親会

主 題：プレゼンテーションのテクニック

日 時：平成14年4月25日（木）17：45～19：15

場 所：（財）日本教育会館（春季全国大会開催会場）溶接学会全国大会 第3会場

参加者：26名

(2) 秋季全国大会フォーラム，懇親会

主 題：若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会

日 時：平成14年10月4日（金）18：00～19：30

場 所：高山市民文化会館（秋季全国大会開催会場）2F展示室

参加者：43名

5.2 若手会員のためのセミナー・勉強会

(1) 春季セミナー（第3回溶接基礎セミナー）

主 題：これから溶接・接合を学ぶ人たちのための溶接法基礎講座

日 時：平成14年3月26日（火）11：00～17：00

場 所：新日本製鐵（株）総合技術センター

参加者：22名

(2) 見学会

主 題：関西電力（株）大飯発電所見学会  
日 時：平成14年6月26日（水）14：00～16：00  
場 所：関西電力（株）大飯発電所3 / 4号機  
参加者：20名

(3) 秋季セミナー（第4回溶接基礎セミナー）

主 題：アルミニウム材料の溶接法と材料学  
日 時：平成14年12月19日（木）10：30～16：30  
場 所：富山県工業技術センター 技術開発館ホール  
参加者：39名

(4) 見学会

主 題：企業及び公的研究機関の見学  
日 時：平成14年12月20日（金）8：45～15：30  
場 所：富山県工業技術センター 中央研究所  
アイシン軽金属（株）  
コマツキャストックス（株）  
参加者：10名

5.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に、国際会議への参加や海外渡航に関する特集記事、若手研究者による研究活動報告等を掲載した。  
(2) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。  
(3) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。  
登録者数 約243名（平成15年2月現在）  
E-mail投稿数 約232通（平成14年3月1日から平成15年2月28日まで）

5.4 若手会員の会運営委員会（森裕章委員長）

2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。とくに第26回では、運営委員の交代と新委員の任命を行うとともに、支部制の導入を決定し、各支部長を任命するなど組織の刷新を図った。

・第26回運営委員会

日時：平成14年4月25日（木）12：45～13：30  
場所：（財）日本教育会館（春季全国大会開催会場）会議室  
出席：18名（在籍45名）

・第27回運営委員会

日時：平成14年10月4日（金）12：10～13：10  
場所：高山市民文化会館（秋季全国大会開催会場）2F 会議室  
出席：24名（在籍45名）

なお、運営委員間の協議用として、運営委員メーリングリスト（u-welnet）経由でのE-mailの活用によって定例運営委員会のみではフォローしきれない連絡および議論を進めた。

6. その他の諸会合

支部長会議	2
財務理事会	2
総務理事会	2
名誉員推薦審査委員会	1
溶接学会功績賞授賞審査委員会	1
溶接学会貢献賞授賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞授賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1
溶接学会国際協力賞	1

7. 会 勢

会員数（平成15年2月末現在）

賛助員		団 体 員	個人会員					個人会員
会員数	口 数		名誉員	特別員	推薦会員	正 員	学生員	合 計
429	1,089	62	32	75	11	3,171	218	3,507

#### 会員の移動

種 別		賛 助 員		正 員	学生員	団 体 員
		会員数	口 数			
14年度初在籍数		448	1,125	3,430	250	70
入 会		9	10	93	68	1
退 会		28	39	376	72	9
口 数	増	(1)	1	-----	-----	-----
変 更	減	(6)	8	-----	-----	-----
資 格	増	-----	-----	28	0	-----
変 更	減	-----	-----	* 4	28	-----
計		429	** 1,089	** 3,171	** 218	62

\* : 特別員へ移行 ( 4 名 )

\*\* : 退会保留及び減口保留中のものを整理 (正員 6 名、学生員 1 名)

#### 支部報告

##### 1. 北海道支部 ( 佐藤浩一支部長 )

##### 1. 事業報告

##### 1.1 講習会、セミナ - など「テーマ」

##### 「見学会」

会期 平成14年8月9日

会場 豊平製鋼株式会社

参加者 21名

##### 「溶接施工技術に関する技術セミナー」

会期 平成14年10月8日

会場 釧路工業技術センター

受講者 24名

##### 「溶接技術講習会」

会期 平成14年12月5日

会場 北海道産学官協働センター

受講者 18名

##### 「映画会」

会期 平成15年3月

参加企業 8 社

##### 2. 会務報告

##### 2.2 平成14年度通常総会

特別講演、表彰など

##### 「平成14年度支部商議員会並びに支部総会」

会期 平成14年3月19日

会場 北海道大学工学部

議事 (1)平成13年度事業報告、決算報告

- (2)平成14年度役員交代
- (3)平成14年度事業計画、予算

「溶接学会各賞授与」

会期 平成14年8月2日  
 会場 日本溶接協会  
 北海道地区溶接技術競技大会 溶接学会北海道支部長賞  
 立岡 知幸、桜庭 靖  
 会期 平成15年3月20日  
 会場 北海道大学工学部  
 溶接学会溶接技術普及賞 成田 篤  
 溶接学会溶接技術奨励賞 梅田 義則  
 溶接学会奨学賞 齋藤 繁

2.3 常任幹事・地区委員長会議など

「北海道支部幹事会」

場所 北海道大学工学部  
 第1回 平成14年5月14日  
 第2回 平成14年9月11日  
 第3回 平成15年3月6日

「各賞受賞者審査委員会及び選考委員会」

会期 平成14年12月25日  
 場所 北海道大学 エンレイソウ  
 (1)溶接学会溶接技術普及賞審査委員会  
 (2)溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会  
 (3)溶接学会奨学賞選考委員会

2. 東北支部（粉川博之支部長）

1. 事業報告

1.1 第39回商議員会

平成14年5月11日（土）11:00-12:30  
 社団法人日本溶接協会東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

1.2 表彰

平成13年度溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞授与  
 平成14年5月11日（土）午前11時より  
 東北地区溶接技術検定委員会会議室  
 溶接技術奨励賞 森谷 茂氏、木村 光彦氏  
 溶接技術普及賞 成田 治俊氏、武田 繁三郎氏  
 平成13年度溶接学会奨学賞授与（報告）  
 本部 浦田 光徳 君  
 東北支部 伊藤栄治君、ジン偉忠君、杉浦裕介君、瀬戸博人君、朴勝煥君

1.3 総会：平成13年度と同様郵送による形式。

1.4 研究会：第14回溶接・接合研究会を平成14年7月19日（金）午後、ホテル東日本盛岡（岩手県盛岡市）にて開催（特別講演1件、研究発表6件、懇親会、参加30名）。支部活動強化費助成を受けましたことに感謝いたします。

3. 東部支部（三田常夫支部長）

1. 事業報告

(1) 第28回 実用溶接講座

主 題：溶接施工技術のIT化・システム化  
 開 催 日：平成14年 7月3日（水）、4日（木）  
 開催場所：（財）日本溶接技術センター  
 講 師：大嶋健司、浜本康司、黄地尚義、糟谷正、安田克彦、宮崎建雄、鴨和彦、  
 中山繁、勘定義弘（敬称略）  
 聴講者数：35名

(2) 東京地区講習会

主 題：東京都登録制度Cランク（管理者向け）技術講習会  
 講 師：春原匡利氏、古藤凱生氏  
 主 催：（社）日本溶接協会 東京都第一支部、第二支部  
 開催日時：平成14年 12月23日（月）  
 開催場所：那須ストラクチャー工業（株）千葉工場

参加者数：90名

(3) 神奈川地区技術講習会

主 題：最近における自動車溶接の自動化状況について

共 催：(社)日本溶接協会 神奈川県支部

(財)日本溶接技術センター

開催日時：平成14年12月18日(水)

開催場所：日産車体株式会社 湘南工場

講 師：堀江安則

工場見学：日産車体株式会社 湘南工場

参加者数：38名

(4) 千葉地区講習会

本年度は、実施せず。

(5) 茨城地区講習会

主 題：摩擦攪拌接合の最近の進歩と重電機器工場の最近の溶接技術

共 催：(財)日立地区産業支援センター

開催日時：平成15年2月26日(水)

開催場所：(財)日立地区産業支援センター

講 師：稲垣正寿氏、矢田良男氏

参加者数：40名

(6) 埼玉地区講習会

主 題：溶接電源・切断技術の現状と動向および溶接施工のポイント

共 催：(社)日本溶接協会 埼玉支部

開催日時：平成14年9月7日(土)

開催場所：SATAS(サタス)

講 師：石原完爾氏、米森茂樹氏、中野悦男氏

参加者数：21名

(7) 栃木地区講演会

主 題：入熱パス間温度の管理とその影響について

共 催：(社)日本溶接協会 栃木支部

開催日時：平成15年2月27日(木)

開催場所：ポリテクセンター栃木

講 師：弓手久男氏、大岡紀一氏

参加者数：32名

(8) 群馬地区講習会

本年度は実施せず。

(9) 新潟地区講習会

主 題：アルミニウム合金およびマグネシウム合金の溶接技術の基礎 と実際

共 催：新潟県県央地域地場産業振興センター

開催日時：平成14年11月21日(木)

開催場所：新潟県県央地域地場産業振興センター

講 師：上山智之氏

聴講者数：30名

(10) 山梨地区講習会

主 題：溶接入熱管理について

共 催：山梨県工業技術センター (社)山梨県鉄構協会

開催日時：平成14年11月21日(木)

開催場所：山梨県工業技術センター

講 師：中込忠男氏

聴講者数：40名

(11) 長野地区講習会

本年度は実施せず。

2. 会務報告

(1) 平成14年度通常総会

開催日時：平成14年5月9日(木)

開催場所：(財)日本溶接技術センター

通常総会：15:00～16:00 (出席者数35名)

議 題：(1)平成13年度事業・会務報告及び収支決算報告承認の件

(2)平成14年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

(3)役員改選に伴う新役員承認の件

(2) 特別講演

開催日時：平成14年5月9日(木) 16:00～17:00

開催場所：(財)日本溶接技術センター

講演題目：電子ビーム溶接とレーザー溶接

講師：入江 宏定 氏((財)日本溶接技術センター)

(3) 常任幹事・地区委員長会議

第127回 平成14年 7月18日 溶接学会会議室

第128回 平成14年10月23日 溶接学会会議室

第129回 平成14年 2月 7日 溶接学会会議室

(4) 各賞選考委員会

平成14年度溶接学会東部支部各賞選考委員会を下記の通り開催し、各賞候補者を推薦した。

日 時：平成14年 2月 7日(金)

場 所：溶接学会会議室

出席者：浅井選考委員会委員長 他4名

(5) 表彰

平成14年度溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞ならびに溶接学会奨学賞をそれぞれ下記の各氏に授与することとし、5月23日開催の第130回常任幹事・地区委員長会議終了後に授賞式を行うこととした。

溶接技術奨励賞

中崎 隆光 (Hitachi Canadian Industries Ltd.)

竹内 直記 (コベルコロボットサービス(株))

三柴 隆 ((株)ミラプロ)

溶接技術普及賞

真田 満 (川崎製鉄株式会社 技術研究所)

石川 澄 (東芝プラント建設株式会社)

平田 末美 (石川島検査計測株式会社)

溶接学会奨学賞

稲垣 洋平 (東京工業大学大学院 理工学研究科)

入江 俊幸 (工学院大学大学院 工学研究科)

大谷 有吾 (群馬大学大学院 工学研究科)

4. 東海支部(榎本清志支部長)

1. 事業報告

1.1 講習会、セミナーなど

第10回講習会 テーマ「自動車産業を支える最新溶接技術」

会期：平成14年3月8日

場所：名古屋市工業研究所

受講者：117名

第11回講習会 テーマ「鉄骨・橋梁など大型構造物の溶接技術の進歩」

会期：平成14年7月22日

場所：名古屋市工業研究所

受講者：44名

第50回研究会 テーマ：「鉄骨・建築構造における溶接の自動化・自動制御」

会期：平成14年12月19日

場所：名古屋市工業研究所 視聴覚室

受講者：38名

1.2 平成14年度秋季全国大会開催

会期：平成14年10月3日、4日、5日

場所：高山市民文化会館

発表論文数 : 219件

特別講演会 : 135名

技術セッション : 121名

ワークショップ : 72名

懇親会 : 151名

参加者：述べ人数 = 1,524名

1.3 刊行

10回講習会テキスト：「自動車産業を支える最新溶接技術」

11回講習会テキスト：「鉄骨・建築構造における溶接の自動化・自動制御」

- 全国大会ワークショップテキスト：「最新溶接技術の使い分け」
2. 会務報告
- 2.1 平成14年度支部総会 平成14年6月4日、 於：三菱電機名古屋製作所  
特別講演「アルミニウム合金製鉄道車両を支える技術」寺本富彦氏（名城大）  
支部三賞授賞式：  
溶接技術普及賞受賞者：加藤喜久氏  
溶接奨学賞：菰田頼忠君、鄭ヨン教君
- 2.2 幹事会、支部商議員会など  
商議員会：平成14年5月17日 於：名古屋大学 工学部 16名  
商議員会：平成13年6月4日 於：三菱電機名古屋製作所 19名
5. 北陸支部(竹下 晋支部長)
1. 事業報告
- 1.1 特別講演会1  
（社）日本溶接協会富山県支部、富山県工業技術センターと共催  
テーマ「最近のアーカ溶接法の動向について」  
「レーザ・アーカハイブリッド溶接技術の現状」  
講師（株）ダイヘン 溶接メカトロカンパニー 参事 上山 智之氏  
会期 平成14年7月12日（金）14：00～16：30  
会場 富山県工業技術センター 技術開発館  
受講者 50名
- 1.2 講習会  
（社）日本溶接協会富山県支部、富山県工業技術センターと共催  
テーマ「チタン溶接の現状と将来性」  
「チタン溶接」（実演）  
講師 職業能力開発総合大学校 産業機械工学科 教授 安田 克彦氏  
会期 平成14年8月30日（金）13：30～16：30  
会場 富山県工業技術センター 技術開発館（講演）  
富山職業能力開発センター（実演）  
受講者 35名
- 1.3 特別講演会2  
福井県工業技術センターと共催  
テーマ「最新レーザ溶接技術」  
「デモカーによるハンディYAGレーザ加工の実演」  
講師 アマダ ジェネファブ事業部 伊藤 秀士氏  
会期 平成14年11月22日（金）13：30～15：00  
会場 福井県工業技術センター  
受講者 27名
- 1.4 セミナー  
若手会員の会、（社）高岡アルミニウム懇話会、富山県工業技術センターと共催  
テーマ 第4回溶接基礎セミナー「アルミニウム材料の溶接法と材料学」  
講演件数；6件  
講師 大阪大学大学院工学研究科 森 宏章氏  
大阪大学接合科学研究所 田中 学氏  
東北大学大学院工学研究科 佐藤 裕氏  
三重大学工学部 川上 博士氏  
昭和電工（株） 橋本 武典氏  
富山県工業技術センター 富田 正吾氏  
会期 平成14年12月19日（木）10：30～16：30  
会場 富山県工業技術センター 技術開発館  
受講者 45名
2. 会務報告
- 2.1 平成14年度通常総会  
日時 平成14年7月12日（金）13：30～14：00  
場所 富山県工業技術センター 第1会議室  
議事 平成13年度事業及び決算報告  
平成14年度事業計画（案）及び予算（案）
- 2.2 第1回幹事会・商議員会  
日 時 平成14年7月12日（金）12：40～13：30



場 所 富山県工業技術センター 第1会議室  
出席者 9名  
議 事 平成13年度事業及び決算報告  
平成14年度事業計画(案)及び予算(案)

2.3 第2回幹事会・商議員会

日 時 平成14年11月22日(金) 12:30~13:30  
場 所 福井県工業技術センター 多目的会議室  
出席者 8名  
議 事 平成14年度事業経過報告  
平成14年度会計報告及び決算報告  
平成15年度事業計画(案)及び予算(案)  
支部長会議報告

6. 関西支部(小溝裕一支部長)

1. 事業報告

1.1 見学会

会 期 平成14年9月20日(金)  
会 場 (株)神戸製鋼所 神戸製鉄所内 神鋼神戸発電所  
参加者 38名

1.2 技術セッション

会 期 平成14年11月15日(金)  
会 場 新明和工業(株)甲南工場  
講演会テーマ 「高効率/無欠陥溶接への取り組み」  
見学会テーマ 「飛行艇を主体とした航空機製造現場」  
受講者 24名(役員、講演者を含む参加者38名)

1.3 シンポジウム

会 期 平成15年3月19日(水)  
会 場 尼崎リサーチインキュベーションセンター  
テーマ 「溶接品質管理の課題と対策」  
受講者 23名(役員、講演者、表彰者を含む参加者43名)

2. 平成14年度 会務報告

2.1 通常総会

会 期 平成14年5月21日(金)  
場 所 中央電気倶楽部 315号会議室  
出席者 22名

2.2 表彰式

会 期 平成15年3月19日(水)  
会 場 尼崎リサーチインキュベーションセンター  
(同日開催のシンポジウムに併設。表彰者 奨励賞3名、普及賞2名)

7. 中国支部(深谷保博支部長)

1. 第6回研究会・見学会

日時:平成14年7月5日(金) 場所:マツダ(株)防府工場  
出席:82名  
研究会:「自動車の溶接における最新技術動向」  
マツダ(株)商品生技部 山路義明氏  
見学会:車体工場

2. 第1回支部幹事会

日時:平成14年8月9日(金) 場所:東方2001  
内容:研究会・見学会報告および溶接技術講習会の打合せを実施。  
溶接技術講習会は「機械、構造物の劣化現象と診断・維持管理技術」で実施することを決定。

3. 溶接技術講習会

日 時:平成14年11月18日(月) 場所:広島県情報プラザ  
受講者:82名  
講習題目:機械、構造物の劣化現象と診断・維持管理技術  
内 容:土木学会中国支部,材料学会中国支部,西部造船会,中国地方非破壊検査技術  
振興会の後援で実施。講師は7名(大学関係3名,企業関係4名)で実施。

4. 第2回支部幹事会

日時：平成14年12月16日（月） 場所：東方2001

内容： 溶接技術講習会報告

平成14年度学会表彰者選考（授賞審査委員会）

溶接技術奨励賞：藤本由紀夫氏（広島大学大学院 教授）

篠崎 賢二氏（広島大学大学院 教授）

溶接技術普及賞：印藤 公夫氏（日立笠戸機械工業 取締役社長）

麻野 純生氏（石川播磨重工業 呉新宮工場長）

中国支部50周年記念行事（実施することを決定）

平成16年度秋季全国大会（準備事項を整理）

中国支部会員＜準会員＞（具体案の検討を実施）

永井先生＜広島大学名誉教授＞叙勲（お祝いを決定・実施）

#### 5. 支部商議員会・幹事会合同会議および支部総会

日時：平成15年3月28日（金） 場所：東方2001

内容： 事業・会務の報告・計画説明および各賞表彰式を実施。

中国支部50周年事業を11月に実施することを決定。

平成16年度秋季全国大会の実行委員会を結成。

中国支部会員制度の基本案を決定。

学生表彰

溶接学会奨学賞：近畿大学大学院工業技術研究科 吉川穂高 君

中国支部奨学賞：広島大学大学院工学研究科 金田明欣 君

広島大学工学部第四類（建設系） 石田欽也 君

岡山大学大学院自然科学研究科 服部 望 君

岡山理科大学理学部応用物理学科 中野 武 君

近畿大学大学院工業技術研究科 中馬越 幸次君

#### 8. 四国支部(勝村宗英支部長)

##### 1. 事業報告

##### 1.1 第1回溶接技術実用講座

日 時 H14.11.29

講演題目 鋼を上手く溶接するために

後 援 6 団体

場 所 徳島県立工業技術センター

参加者 42名

##### 1.2 第1回溶接技術基礎講座

日 時 H14.7.5

題 目 鉄構の高能率・高品質溶接施工

後 援 4 団体

場 所 香川県産業技術センター

参加者 17名

##### 1.3 特別講演会「レーザ加工とパンティングによる造形アート」他

日時 H14.7.3

主催 高知県溶接・レーザ研究会、共催：溶接学会四国支部

場所 三翠園（高知市）

##### 1.4 第13回ウルトラウエルドトレーニング

日時 H14.8.24

主催 高知県溶接・レーザ研究会、高知県工業技術センター

共催：高知県立高知高等技術学校

後援 5 団体

場所 高知県立高知技術学校

##### 1.5 第14回ウルトラウエルドトレーニング

日時 H14.9.7

主催 高知県溶接・レーザ研究会、高知県工業技術センター

共催：高知県立高知高等技術学校

後援 5 団体

場所 高知県立高知高等技術学校

##### 1.6 第15回ウルトラウエルドトレーニング

日時 H14.10.12

主催：高知県溶接・レーザ研究会、高知県工業技術センター

共催：高知県立高知高等技術学校

- 後援 5 団体  
場所 高知県立高知高等技術学校
- 1.7 特別シンポジウム「建築鉄骨産業の今後の方向」  
日時 H14.10.24  
主催：高知大学地域共同研究センター、(社)全国鉄構工業協会四国支部、(社)溶接学会  
四国支部、高知県溶接・レーザ研究会  
後援：多数  
場所 三翠園（高知市）
- 1.8 四国・高知の海洋資源の魅力と研究・開発の展望  
日時 H14.11.14  
主催 高知大学地域共同研究センター、高知大学海洋コア研究センター  
後援 8 団体
- 1.9 レーザ機器等最新鋭の加工機械見学会  
日時 H15.2.13  
主催 高知県溶接・レーザ研究会  
場所 高知県立高知東高等技術学校
- 1.10 第16回ウルトラウエルドトレーニング  
日時 H15.2.15  
主催 高知県溶接・レーザ研究会、高知県工業技術センター  
共催：高知県立高知高等技術学校  
後援 5 団体  
場所 高知県立高知東高等技術学校
2. 会務報告
- 2.1 支部総会  
日 時 H14.7.5
- 2.2 記念講演  
場 所 香川県産業技術センター  
参加者 18名+54名（委任状）
- 2.3 幹事会  
H14.7.5 香川県産業技術センター  
H14.11.29 徳島県立工業技術センター
9. 九州支部（豊貞雅宏支部長）
1. 事業報告
- 1.1 平成14年度溶接学会九州支部研究発表会  
（1）支部総会  
日時：平成14年7月11日（木）  
場所：九州大学ベンチャービジネスラボラトリー
- （2）研究発表会  
日時：平成14年7月11日（木）  
場所：九州大学ベンチャービジネスラボラトリー  
出席者：30名
- （3）溶接研究会  
（3-1）14年度第1回研究会  
日時：平成14年6月3日（月）  
場所：九州大学ベンチャービジネスラボラトリー  
出席者：50名
- （4）商議員会  
日時：平成14年7月11日（木）  
場所：九州大学ベンチャービジネスラボラトリー  
出席者 30名
- 1.2 刊行  
出版物名  
平成14年度溶接学会九州支部研究発表会 講演概要集
- 1.3 溶接設計テキストの作成  
設計者、現場管理者向けのテキスト作成のための組織作りを行い、平成15年10月開講に向けた活動を行っている。